

厚生労働大臣 武見 敬三 様  
厚生労働省医政局長 浅沼 一成 様  
厚生労働省医政局研究開発政策課長 中田 勝己 様  
治験推進室長 飯村 康夫 様

臨床試験にみんながアクセスしやすい社会を創る会  
共同発起人一同

## jRCT 改修についての要望書

平素よりがん対策、難病対策の推進、並びに臨床試験情報に対する患者・研究者等のアクセス改善に向けご理解とご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

「臨床試験にみんながアクセスしやすい社会を創る会（以下、創る会）」は、患者団体、医療・研究機関などの関係機関が疾患を越えて臨床試験へのアクセス改善を共に目指すことを目的として設立した組織です。この度、本会議での議論を重ねる中で、臨床研究等提出・公開システムである jRCT (Japan Registry of Clinical Trails) の改善事業について、患者にとっての臨床試験へのアクセス性向上、並びに研究者にとっての創薬環境の改善・向上を目指し、下記のとおり要望いたします。

### 記

#### 1. jRCT の改修および対応状況のフィードバックの実施

別紙 1、2 の通り jRCT の改修を実施いただきたい。また、創る会からの改修要望を令和 6 年度に実施される jRCT 改修に向けた仕様検討のための有識者検討会における議論に含めるとともに、要望事項への対応状況と改修の見込み等について適切なタイミングで創る会にフィードバックいただきたい。

#### 2. jRCT 改修に関わる有識者検討会への創る会構成員の参画

令和 6 年度に実施される jRCT 改修に向けた仕様検討のための有識者検討会に、創る会の構成員を参画させていただきたい。

#### 3. jRCT を利活用する関係各所の意見を取り入れた改修の実施

jRCT には臨床試験情報を入力する側/検索する側として、患者団体、医療・研究機関、製薬企業など多くのステークホルダーが関わることから、各ステークホルダーの意見を取り入れた改修を進めていただきたい。

#### 4. 迅速かつ着実な予算措置

全ての人にとってユーザーフレンドリーな jRCT の構築に向けた迅速かつ着実な予算措置を講じていただきたい。また、臨床試験情報の啓発・周知活動の実施、並びに jRCT 大規模改修後も必要とされる保守運用および改修に必要な予算措置を講じていただきたい。

#### 5. 創る会との継続的な意見交換の実施

令和 6 年度以降も創る会と継続して意見交換する場を設け、創る会とともに、患者にとっての臨床試験へのアクセス性向上、並びに研究者にとっての創薬環境の改善・向上を推進いただきたい。

#### 6. jRCT の使用方法や手順、臨床試験情報の啓発・周知活動の実施

患者・家族・医療者・研究者が jRCT を正しく理解し積極的に活用できるよう、使用方法や手順、臨床試験情報の啓発・周知活動を積極的に実施いただきたい。

#### 7. jRCT と UMIN との統合の実施

国内の臨床試験情報を集約しデータベースとして一元化するため、大学病院医療情報ネットワーク (UMIN) と jRCT との統合を実施するとともに、統合後も適切な運用がなされるよう体制を整備いただきたい。

以上